

行政改革推進項目別実施状況一覧（令和2年度末）

行政改革推進項目		計画完了	年度目標達成	目標達成に向けて実施中	実施に向けて検討中	計画中止	主な取組内容
<b>1 市民ニーズの把握と「総動」</b>							
(1) 市民にとってわかりやすい形での情報の提供	①情報提供手段の拡大 ②市民との行政課題の共有		○				広報紙の見やすさを検討し作成。ホームページの更新をツイッターで発信
(2) 市民ニーズを間断なく把握	①行政からの積極的な意見収集			○			
(3) 市民の意見をしっかり受け止められる行政をめざして	①市民ニーズに対する迅速な対応 ②審議会等への市民公募・女性参加率の向上		○				「しみんの声」に迅速に対応。回答発送まで平均12.1日（目標18日）
(4) 市民のやりがいと市民力を引き出す仕組みづくり	①住民団体（NPO、ボランティアなど）の支援体制の確立 ②「ちいき生活応援隊」の推進 ③河川・道路アダプト（里親）の制度の推進			○			登録済み団体に継続依頼し、新規団体募集を強化。21団体（目標14団体）
<b>2 職員の資質向上と人事制度</b>							
(1) 市民と同じ目線で考える人材育成・職員の資質向上	①職員の外部派遣等の推進・外部（民間・他自治体）人材の積極的受入れと登用				○		
(3) 職員研修制度の見直し	①職員研修の拡充			○			
(4) 人事制度の見直しと働き方改革	①能力と実績に基づく人事評価制度の確立 ②働き方改革の推進				○		各部の権限による柔軟な人員配置を可能とするため、部制人事を実施
<b>3 効率的・弾力的かつ機動性のある組織の整備</b>							
(1) 進捗管理とPDCAサイクル	①行政改革大綱及び実施計画の進行管理 ②行政改革大綱の職員への浸透		○				
(2) 事務の継続性の確保	①業務マニュアル作成の推進 ②組織の見直し			○			企画経営部、産業環境部を創設するなど抜本的な組織再編を実施
(3) 組織の弾力的運用	②職員の適正配置			○			・正規職員と会計年度任用職員を合計した人員の「総量」を把握するシートを作成 ・各部の権限で柔軟かつ弾力的な人員配置を可能とする体制を構築
(4) 行政の最小単位である行政区	①行政区の活用と検討		○				
(5) 機動性のある行政運営	①行政評価の活用		○				・最終評価を10月に実施し、評価結果を次年度予算に反映 ・評価後の改善を進捗管理するための「改善シート」を導入 ・評価基準の数値化、若手職員の2次評価参加
(6) 民間活力の活用	①アウトソーシングの活用			○			
<b>4 健全な財政運営</b>							
(1) 歳出の削減と財源の確保	①今後の財政見通しの作成と公表 ②広告媒体の活用 ③財務諸表の活用 ④市税の収納率の向上 ⑤債権回収事務の一層の推進とその一元化に向けた取組			○			3年間の財政見直しを作成し公表（目標は5年間）
(2) 市有施設の適正な管理	①市有財産の有効活用 ②固定資産台帳の整備 ③公共施設等総合管理計画に基づく施設管理			○			土地開発基金の土地を売却。旧松井田第一保育園の土地・建物を不動産鑑定評価。
(3) 地方公営企業・第三セクターの経営の健全化	①病院事業の推進 ②第三セクターの健全経営の推進と民営化の検討		○				安中市公園施設長寿命化計画を策定 常勤医師 9人・病床149床・働率約56.8%・在院日数28日
<b>5 ICTを活用した情報化の推進</b>							
(1) ICT活用による業務の効率化	①AI、RPA等の活用 ②職員の情報処理能力、情報セキュリティ意識の向上			○			AI-OCR使用案件15件（目標40件）、RPA使用事務9件（目標3件）
(2) 行政サービス向上のためのICT利活用の推進	①行政手続のオンライン化の推進 ②オープンデータの推進			○			オンラインで可能な行政手続数9件 オープンデータの公開数11件
(3) 情報システムのクラウド化	①ガバメントクラウド活用の検討			○			
合計		0	9	15	7	4	0